



わたしたちの
「びわ湖」を、
わたしたちの力で
はぐくみたい！

つながりに気づき、つながりを築く

マザーレイクフォーラム

SINCE 2012

マザーレイクフォーラム運営委員会

《We Love「びわ湖」!! みんなで守ろう“マサーレイク”》



マサーレイクフォーラム
運営委員長
松沢 松治

長年漁師として日々びわ湖と接するなかで、湖面の色や魚の動きなど、科学的データでは見えない、びわ湖の“異変”を目の当たりにしています。
びわ湖は、私たち県民みんなの暮らしを映す「鏡」だと思います。まずはびわ湖の現状を知り、みんなで力を合わせて取り組んでいくための場として、マサーレイクフォーラムを運営させてもらっています。

マサーレイクフォーラム
イメージキャラクター
あゆむ



びわ湖は、上流と下流・人と人・人と生き物・活動と活動…をつなぐ「架け橋」だよ！
びわ湖を囲んで、びわ湖のために、みんなであつなろう。

「びわコミ会議」の総合同会のほか、マサーレイクフォーラムのさまざまな取り組みへの理解を広めるお手伝いをしています。
びわ湖は、滋賀県民の愛と勇気の源。一人ひとりの小さな一歩を着実に積み重ねることで、みんなでびわ湖に“希望の虹をかけよう！”
～♪マサーレイク～



マサーレイクフォーラム
広報大使
川本 勇

私たちが運営しています！

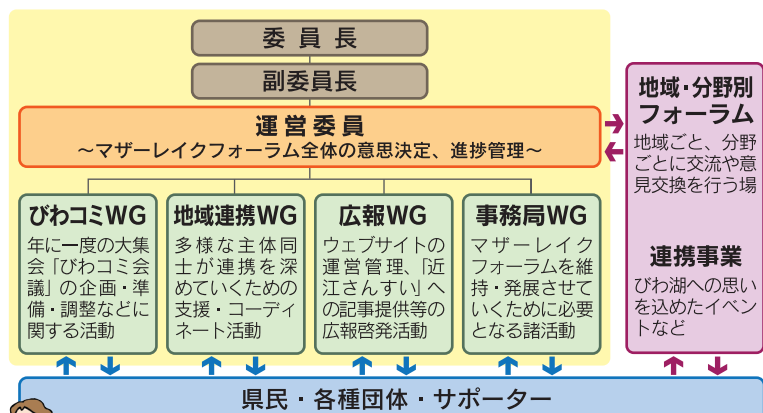
《マサーレイクフォーラム運営委員会》

「マサーレイクフォーラム運営委員会」の構成メンバーは、びわ湖と長年関わってきた人が多く、漁師・農家・NPO や市民団体・企業や個人事業主・研究者・行政など、多岐にわたります（H28年度の運営委員数＝27名、代表＝松沢松治委員長）。

それぞれに立場の異なる私たちが、利害関係を超えて、「母なるびわ湖を守りたい」というただひとつの共通の目的のため、ともに手を携え、知恵を出しあって、継続的に議論しながら、マサーレイクフォーラムの運営をしているのです。



マザーレイクフォーラム運営委員会の組織体制



》》》 具体的にどんなメンバーが運営委員になっているか調べてみよう !!

運営委員会 <http://mlf.shiga.jp/committee>

<http://mlf.shiga.jp/biwacon> びわコミ会議

》》》 あなたも「びわコミ会議」に参加しよう !!

- 参加者の声
 - 主 催：マサーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県
 - 参加条件：びわ湖が好きなお人、大人から子どもまで
 - 参加者数：200名程度（アス展示数25程度）
 - 参加 費：無料
 - 開催場所：コラボしが21（大津市）
 - 開催時期：毎年1回（8月下旬ごろ）
- 開催概要
 - ※年によって一部変更になる可能性があります
 - ・アス展示…様々な活動団体の紹介アス
 - ・私のコミットメント…参加者各々の“びわ湖との約束”
 - ・びわ湖のこれから、話さへん？…アス別グループ討論
 - ・びわ湖のうた！…びわ湖に関する最新情報の解説
 - ・みんなつながる報告会…先進的な活動の事例報告
- 例年の主な内容
 - ・びわ湖流域の保全に関わる人たちが一堂に集まって、お互いの立場や経験、意見の違いを尊重しつつ、課題を共有し、びわ湖の将来について話し合い、マサーレイク21計画の進捗管理を行うのが「びわコミ会議」。
 - ・びわコミの「びわ」はびわ湖を指し、「コミ」は英語のコミュニケーション（地域、コミュニケーション（対話）、コミットメント（約束）の頭文字を指しています。

- 「びわコミ会議」とは？
 - 「びわ湖との約束」は、びわコミ会議での話し合いをもとに毎年作成される、みんなの行動指針です。また、次の「マサーレイク21計画」の見直しの際にも、「市民からの提案」として活用されます。
- 「びわ湖との約束」(2014-2015)から生まれたびわコミ会議
 - ① みんなが主役になる
 - びわ湖を好きになって大切さを伝えよう！
 - みんなで考え、共有し、実践しよう！
 - ② 食べる・楽しむ・汗をかく
 - 五感でびわ湖に親しもう！
 - 食べることでびわ湖と食文化を守ろう！
 - びわ湖の魅力を感じよう！
 - びわ湖で心身の健康を手に入れよう！
 - ③ 地域と共に生きる
 - びわ湖コア・アス・アス・アスを育てよう！
 - 企業よし・生き物よし・地域よし、「びわ湖三方よし」を目指そう！
 - 地域と企業が支え合い、学びあおう！
 - ④ 人と人をつなげる
 - 親から子、子から孫へ思いをつないでいこう！
 - 多様な人や組織をつないで新しい発想をもちあそう！
 - アス・アス・アスでつながりを広げよう！
 - ⑤ 人とびわ湖をつなげる
 - 身近なつながりに気づこう！
 - 暮らしと住まいのつながりを考えよう！
 - 水害のことや、体感しよう！
 - びわ湖の役割をメタアスで伝えよう！
 - ⑥ 上流と下流をつなげる
 - 山・川・田んぼ・びわ湖の生きものをつなげよう！
 - 山・川・田んぼ・びわ湖とつながる内湖を考えよう！



《「びわコミ会議」に参加しよう!!》

このパンフレットは、平成27・28年度にマサーレイクフォーラムに寄せられた寄付金（「びわ湖100kmチリ・アス・アス実行委員会」様、「びわ湖100kmチリ」様、「Flower produce ichei」様より）を活用して制作・印刷しました。

問合せ
マサーレイクフォーラム運営委員会事務局
〒525-0066 草津市矢橋町手嶋2108 淡海環境プラザ2F 2階
TEL：077-569-5301 FAX：077-569-5304
Eメール：mlf@ohml.or.jp

fbページ <https://www.facebook.com/motherlakeforum>

》》》 今すぐページに「いいね」しよう !!

facebookページ
●facebookで、びわ湖関係の最新ニュースや写真などを日々更新中！

メンバー登録 <http://mlf.shiga.jp/join>

》》》 今すぐ無料で利用登録しよう !!

- 「みんなの情報交流サイト マサーレイクフォーラム」
<http://mlf.shiga.jp>
「みんなの情報交流サイト」では、マサーレイクフォーラムに関する詳しい情報を掲載しているほか、びわ湖流域で開催される活動やイベント情報を紹介する「活動カレンダー」や、市民同士で交流や情報発信ができる「みんなの情報交換ページ」を運営しています。
- 「マサーレイクフォーラム」
「マサーレイクフォーラム」(無料)をすることで、活動カレンダーや「みんなの情報交換ページ」に書き込みをしたい、最新情報をメールで受け取れるようになります。

マサーレイクフォーラム 検索

「みんなの情報交流サイト」を活用しよう！

《Webサイトの案内》

《マザーレイクフォーラムのしくみと役割》



●「マザーレイクフォーラム」とは？

マザーレイクフォーラムは、びわ湖への「思い」と「課題」によって「ゆるやかにつながる場」。平成 24（2012）年に設立されて以来、さまざまな人や団体同士が「つながり」を築いていくためのプラットフォームづくりを続けてきました。

●「マザーレイクフォーラム」の目的

- ★びわ湖流域に関わる多様な主体が、お互いの立場を理解・尊重しながら課題や情報を共有するための場づくり
- ★「マザーレイク21計画」（※下の枠内を参照）の進行管理や評価・提言を県民が主体になって行うための場づくり

●「マザーレイクフォーラム」の組織体制

- ★全体運営：マザーレイクフォーラム運営委員会
- ★個別プロジェクトの推進：各ワーキンググループ

●「マザーレイクフォーラム」の主な活動内容

- ★みんなでびわ湖の現状や将来について話し合う年に1度の大集会『びわコミ会議』の開催、企画運営
- ★インターネットを通じて多様な主体同士の分野を超えたつながりや情報共有を育むことを目的とした「みんなの情報交流サイト マザーレイクフォーラム」の運営管理
- ★facebook を通じた情報発信や、季刊誌「近江さんすい」への記事提供等による啓発活動
- ★多様な主体同士がお互いを理解し、立場や考えの違いを乗り越えて連携を深めていくための支援・コーディネート事業
- ★自主的に活動を展開している地域別・分野別フォーラムへの支援や、相互の交流促進の取組

マザーレイクフォーラムとは <http://mlf.shiga.jp/about>

マザーレイクフォーラムに参加する7つの方法



- 1 「びわコミ会議」に参加する
— 毎年開催されていて、誰でも無料で参加でき、活動団体の報告を聞いたり、さまざまなテーマでの話し合いに参加できます。（※裏面を参照）
- 2 「WEB」や「facebook」に登録する
— 「ウェブサイト利用登録」をすると「みんなの情報交換ページ」や「活動カレンダー」を活用できます。また、facebook ページに「いいね！」をすると、日々更新される最新情報が届きます。（※裏面を参照）
- 3 「団体・個人登録」する
— 団体概要や活動内容を登録すれば、WEB サイト上やびわコミ会議の「ブース展示」等で無料で発信できます。（※右上の枠内を参照）
- 4 「寄付・賛助」する
— 「活動には参加できなくてもお金でなら貢献できる」という企業・団体・個人の方は、ご寄付をお願いします。少額からでも受け付けています。（※右下の枠内を参照）
- 5 「連携事業」を開催する
— 皆さんが主催される行事を、「マザーレイクフォーラム連携事業」として開催することができます。（※右の枠内を参照）
- 6 「ワーキンググループ」の活動に参加する
— マザーレイクフォーラムには、実際に活動を行うためのいくつかの「ワーキンググループ」があり、誰でもワーキンググループの活動や企画運営に携わることができます。
- 7 「運営委員」になる
— もっと深く「マザーレイクフォーラム」の運営に関わりたい方は、ぜひ運営委員に立候補してください。

マザーレイクフォーラムに登録して、
たくさんの仲間とつながろう！

《団体・個人登録制度》

- びわ湖やその流域（川、田んぼ、内湖、山など）の保全活動に取り組んでおられる様々な団体や個人の皆さん同士のつながりを促進するため、それぞれの団体概要や活動内容を WEB サイト上に無料で登録・発信できるページを用意しています。
- 企業、NPO、市民グループ、自治会、研究者、行政機関など、さまざまな団体・個人が登録しています。
- 登録された団体・個人には、「びわコミ会議」でブース出展ができる等の特典もあります。

》》》どんな団体や個人が登録されているか、どこにどんな活動をしている団体や個人がいるか、調べてみよう！！

》》》あなたが所属する団体や、あなた自身の情報も登録しよう！！

登録団体・個人リスト <http://mlf.shiga.jp/link>

あなたの活動とマザーレイクフォーラムを
連携させよう！

《事業連携制度》

- 皆さんが、びわ湖への想いを込めたイベントやフォーラムなどを実施する場合、簡単な申請をしてもらえば、「マザーレイクフォーラム連携事業」として位置づけることができます。
- 「連携事業」になると、チラシ等に右のロゴが使えたり、マザーレイクフォーラムのWEBサイト上でイベントの告知や報告ができます。
- 「淡海の川づくりフォーラム」や「こなん水環境フォーラム」等では、毎年「連携事業」として、運営スタッフ同士の交流も深めています。



》》》どんな連携事業があるか調べてみよう！！

》》》あなたが関わっているイベント等も「事業連携」しよう！！

連携事業 <http://mlf.shiga.jp/cooperation>

マザーレイクフォーラムの取り組みを
お金で応援しよう！

《寄付のお願い》

- 皆様からの寄付金を随時募集しています。1口1,000円で、何口からでもご寄付いただけます。
- いただいた寄付金は、以下の用途に活用します。
①企業とNPOなど、異なるセクター同士の効果的な連携・協働を進めるための支援活動
②びわ湖流域の保全活動への県民の理解と協力を促進するための啓発活動
- マザーレイクフォーラムにご寄付いただいた企業・団体・個人等のお名前、事業内容、ご寄付に至った思い等は、「びわコミ会議」やWEBサイト上で公表させていただきます。
- 毎年度、寄付金活用実績報告を、ご寄付いただいた皆様にさせていただくほか、WEBサイト上でも公開いたします。詳しくはお問合せください。

》》》寄付金振込口座

滋賀銀行 県庁支店 普通 512624
マザーレイクフォーラム運営委員会 代表 松沢松治

寄付のお願い <http://mlf.shiga.jp/donation>

オリジナルLINEスタンプ 好評頒布中!!

マザーレイクフォーラムのイメージキャラクター「あゆむ」がLINEスタンプになりました!! ゲットしてね☆

<http://line.me/S/sticker/1255105>

スタンプ販売の収益金は全額マザーレイクフォーラムに寄付されます。



《「マザーレイク21計画」について》

●「マザーレイク21計画」策定の経緯

高度経済成長期を経て、滋賀県民は安全・安心で便利な暮らしを手に入れた一方、暮らしの中で、びわ湖やそれを取り巻く自然・文化との関わりが薄くなってしまった反省から、滋賀県では、平成12年3月に「琵琶湖総合保全整備計画」（＝「マザーレイク21計画」）が策定され、びわ湖を21世紀における湖沼総合保全のモデルとすべく、幅広い取り組みが進められてきました。

そしてその後、平成23年度から平成32年度までの第2期計画期間に向けて「マザーレイク21計画」の見直し・改定が行われました。

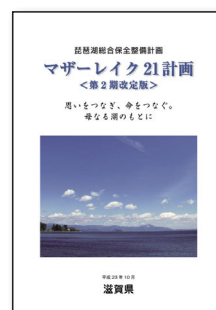
●「第2期計画」の骨子

第2期計画では、行政以外の多様な主体も参画する形で丁寧に議論が進められ、その結果、新たな取り組みの方向性として、「琵琶湖流域生態系の保全・再生」「暮らしと湖の関わり再生」の2本柱が示されました。（下図）

●「マザーレイクフォーラム」との関係

第2期計画では、びわ湖総合保全の取り組みを進めていくには、行政だけでなく、さまざまな立場の人たちが共通の「思い」と「課題」を共有し、ゆるやかにつながって、各々が主体的に役割を果たしていくことの重要性が強調されています。

「マザーレイクフォーラム」は、こうしたつながりの場づくりを積極的に行っていくことによって、多様な主体が連携して第2期計画の目標達成をめざす進行管理を行い、みんなの意見や提案をできるだけ県の施策に反映できるように取り組みをしています。



マザーレイク21計画 <http://mlf.shiga.jp/21plan>

琵琶湖流域の総合保全

琵琶湖流域生態系の保全・再生

暮らしと湖の関わり再生

